

神の川ヒュッテ通信 第100号

発行日 平成29年11月15日
発行者 神ノ川ヒュッテ代表 杉本 憲昭
相模原市緑区小淵1545-1
北丹沢山岳センター内
TEL042-687-4011 FAX042-687-3980

第55回北丹沢神ノ川流域山開き

神ノ川ヒュッテ再建25周年記念の集い

北丹沢神ノ川流域山開きは昭和39年裏丹沢山開きより始まりました。途中地域名が北丹沢地域に変更され、今に続いております。第55回北丹沢神ノ川流域山開きと神ノ川ヒュッテ再建25周年を記念し、合同祝賀会を開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日にち：平成30年4月15日（日）

場所：9時より折花神社にて式典 その後神ノ川ヒュッテへ移動

会費：お一人様2,000円



昭和39年5月2日 裏丹沢山開きの様子

神ノ川ヒュッテの奥地神ノ川広河原での草刈と

シカ柵修理ボランティア活動のお願い

神ノ川周辺の山々はここ2~3年大雨等で林道の崩落が続き、登山道の整備が間に合いません。今秋よりボランティアのお力をお借りし、登山道の整備活動を続け今年も11月23日（祝）に実施いたします。スケジュールは午前8時に神ノ川ヒュッテに集合し、自動車数台に分乗して広河原に向かいます。13時過ぎに作業終了し、神ノ川ヒュッテへ戻り参加者全員にカレーライスの昼食を提供し懇親会を開催します。午後3時に

お開きとなります。皆様のご参加お待ちしております。ご参加いただける方は北丹沢山岳センター宛にメールまたはファックスをお願い致します。北丹沢山岳センター
TEL 042-687-6863
FAX 042-687-3980



MAIL: kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp

* 蛭ヶ岳山荘前管理人木全氏が、昨年北丹沢広河原の山にて遭難した方の遺族を案内した時のご報告です。*

広河原の慰霊

平成29年10月5日

木全 広幸

昨年10月岩水沢で遭難した遺族の方から北丹沢山岳センターへ依頼があり、9月24日(日)、神の川ヒュッテから広河原を経由して遭難現場の近くの岩水沢出合いまで遺族の方を案内して慰霊を行った。遺族の方の話によると、昨年10月21日？西野々のコンビニに自家用車を置いて、70代？の夫婦が入山。途中で奥さんが足をくじき歩けなくなったので、その日は二人でビバーク。翌日、ご主人が西野々のコンビニまで戻って食料を購入し、奥さんのもとへ行って一緒にビバーク。3日後、二人で一緒に下山を試みたが困難を極め、やむを得ずご主人が一人で再度西野々のコンビニまでたどり着き、初めて警察、消防への救助を求めたという。ご主人はそのまま無事に避難出来たが、奥さんは翌4日後の10月25日、警察、消防による救助活動にもかかわらず、残念ながら岩水沢のさらに上部で遺体で発見され、ヘリコプターで収容された後検視の結果凍死であったという。入山口である焼山ふもとの西野々から遺体発見現場である神の川上流の岩水沢までは相当の距離があり、ご主人が昔この限界で猟の経験があったということとはいえ、二人がどのような経路を辿ったのか、全く不可解な点が多い事故であった。9月24日当日は、北丹沢山岳センター関係者5名と遭難遺族の方6名が神の川ヒュッテに集合し、午前10時に車3台に分乗して広河原へ移動。林道からは徒歩で先ず彦右衛門沢？の堰堤まで降りたが、遺族の方の一人が肢体不自由で堰堤の下降が危険なため、6名のうち3名？は堰堤の上まで待機、あとの3名の方を20分程かけて広い河原を歩き岩水沢出合いまで案内した。出合いから岩水沢へ入ったところで花と果物を供え、遭難した方の慰霊を行った。広河原へ戻り、用意した弁当を皆さんでいただいた後神の川ヒュッテまでまた車で戻り、一息して午後2時に無事解散した。遺族の中には、肢体不自由な方、山歩きの経験のない方も含まれており、短い時間ではありましたが大変お疲れさまでした。



神ノ川林道から眺める広河原

私のトイレ清掃とユーシンロッジの思い出

和泉 悟

私が登山口のトイレ清掃を頼まれたときは凄くトイレが汚れていて、こんな汚いトイレでは登山者の人は誰も使わないと思うほど汚れていました。私がガラス清掃を辞めて、次に入った会社でトイレ清掃の仕事を知ったから今のような少しきれいなトイレに成って、少しは気持ちよく用足しを出来る様に成ったと思うよ？いつまで出来るか分からないけど？ユーシンロッジの思い出は約5年近く通った事ですね。話せばいろいろ有って長く成りますから、ざっと話すと家を出てからロッジに着くまでの時間は

3時間以上の道のりでした。最初は山中湖から御殿場に抜けて246を清水橋で丹沢湖に行ってそれから玄倉林道のゲートまで行って鍵を開け、林道を30分かけてやっとロッジに着いて仕事に掛かります。ある日、富山さんに近道を教わり、大分時間が短縮しました。その道は山中湖の平野から三国峠を越えて246に出るのです。その道から見る景色は最高で、よく晴れている時の三国峠の見晴台からは遠くに南アルプスが見え、真下には山中湖、その向こうには雄大な富士山を見ながら進むと、左手に道志の山々や丹沢の山々が見え、前を見れば箱根の山でその向こうは相模湾、目を下に向ければ富士スピードウェイや愛鷹山が見える凄く下り坂を下って246に出て、ユーシンに5年近く通いました。今思えば怖い事や大変な事や遭難救助や、私の車がロッジの登り坂で雪の為動けなくなった時に丁度通りかかった東京電力の車に助けられたことも有りましたが、道中のキレイな景色がその大変な事や辛かった事を忘れさせてくれました。

←霧の山中湖と富士山

ユーシンの秋



まほろしのユーシンブルー

